

表21 前回の自殺企図直後の精神科医の介入

	n = 215 (%)
介入あり	149 (69.3)
介入なし	56 (26.0)
不明	10 (4.7)

表22 Axis-10の有無

	n = 497	(%)
あり	459	(92.4)
なし	12	(2.4)
保留	26	(5.2)

表23 Axis-Iによる全体の診断分類

n = 459 (%)

児童・小児・思春期に診断される疾患	2	(0.4)
せん妄・痴呆・健忘および他の認知障害	7	(1.5)
一般身体疾患による精神疾患	5	(1.1)
物質関連障害	17	(3.7)
統合失調症及び他の精神病性障害	55	(12.0)
気分障害	177	(38.6)
不安障害	25	(5.4)
身体表現性障害	2	(0.4)
解離性障害	12	(2.6)
摂食障害	8	(1.7)
睡眠障害	4	(0.9)
他のどこにも分類されない衝動制御の障害	5	(1.2)
適応障害	140	(30.5)

表24 Axis-Iによるハイリスク群診断分類

	n = 98 (%)
児童・小児・思春期に診断される疾患	0 (0.0)
せん妄・痴呆・健忘および他の認知障害	2 (2.0)
一般身体疾患による精神疾患	1 (1.0)
物質関連障害	3 (3.1)
統合失調症及び他の精神病性障害	14 (14.3)
気分障害	64 (65.3)
不安障害	3 (3.1)
身体表現性障害	0 (0.0)
解離性障害	1 (1.0)
摂食障害	0 (0.0)
睡眠障害	0 (0.0)
他のどこにも分類されない衝動制御の障害	0 (0.0)
適応障害	10 (10.2)

表25 気分障害とリスク

	HIGH	LOW	n
あり	64	113	177
なし	34	260	294
n	98	373	471

P<0.01

表26 適応障害とリスク

	HIGH	LOW	n
あり	10	130	140
なし	88	243	331
n	98	373	471

P<0.01

表27 Axis-11の有無

	n = 497	(%)
あり	153	(30.8)
(人格障害147 精神遅滞6)		
なし	247	(49.7)
保留	97	(19.5)

表28 人格障害とリスク

	HIGH	LOW	n
あり	18	129	147
なし	75	172	247
n	93	301	394

P<0.01

表29 全体の人格障害の診断分類

		n = 147 (%)	
A群(特定不能のA群 1)			
失調質	4	(2.7)	
	3	(2.0)	
B群(特定不能のB群 17)			
反社会性	4	(2.7)	
境界性	97	(66.0)	
演技性	1	(0.7)	
自己愛性	3	(2.0)	
C群(特定不能のC群 2)			
回避性	4	(0.7)	
依存性	7	(4.8)	
強迫性	1	(0.7)	
特定不能	7	(4.8)	

表30 ハイリスク群の人格障害診断分類

n = 18 (%)

A群(特定不能のA群 1)	1	(5.6)
B群(特定不能のB群 1)	12	(66.7)
反社会性 境界性	1	(5.6)
	10	(55.6)
C群(特定不能のC群 0)	2	(11.1)
回避性	2	(11.1)
特定不能	3	(16.7)

表31 Axis-IIIとリヌク

	HIGH	LOW	n
あり	34	73	107
なし	70	302	372
n	104	375	479

P<0.01

表32 Axis-IIIによる全体の診断分類

(複数回答可)

n = 140

(%)

感染症・寄生虫	1	(0.7)
新生物	2	(1.4)
血液・造血器・免疫	5	(3.6)
内分泌・栄養・代謝	13	(9.3)
精神・行動	3	(2.1)
神経系	17	(12.1)
眼および付属器	3	(2.1)
耳・乳様突起	3	(2.1)
循環器系	12	(8.6)
呼吸器系	19	(13.6)
消化器系	17	(12.1)
皮膚・皮下組織	3	(2.1)
筋骨格系・結合組織	14	(10.0)
尿路性器系	8	(5.7)
妊娠・分娩・産褥	4	(2.9)
先天奇形・変形および染色体異常	1	(0.7)
損傷・中毒及びその他の外因の影響	5	(3.6)

表33 Axis-IIIによるハイリスク群診断分類

(複数回答可)

n = 39

(%)

感染症・寄生虫	1	(2.6)
新生物	2	(5.1)
血液・造血器・免疫	0	(0.0)
内分泌・栄養・代謝	4	(10.3)
精神・行動	1	(2.6)
神経系	4	(10.3)
眼および付属器	1	(2.6)
耳・乳様突起	0	(0.0)
循環器系	7	(17.9)
呼吸器系	4	(10.3)
消化器系	5	(12.8)
皮膚・皮下組織	1	(2.6)
筋骨格系・結合組織	4	(10.3)
尿路性器系	2	(5.1)
妊娠・分娩・産褥	1	(2.6)
先天奇形・変形および染色体異常	1	(2.6)
損傷・中毒及びその他の外因の影響	1	(2.6)

表34 Axis-IVとリスク

	HIGH	LOW	n
あり	77	318	395
なし	14	43	57
n	91	361	452

P<0.01

表35 Axis-IVによる全体の診断分類

(複数回答可)	n = 534	(%)
一次支持グループの問題	228	(42.7)
社会環境の問題	106	(19.9)
教育上の問題	6	(1.1)
職業上の問題	66	(12.4)
住居の問題	4	(0.7)
経済的な問題	35	(6.6)
医療機関の利用上の問題	2	(0.4)
司法・犯罪に関する問題	4	(0.7)
その他の心理社会的・環境上の問題	34	(6.4)
病苦	49	(9.2)

表36 Axis-IVによるハイリスク群診断分類

(複数回答可)	n = 107	(%)
一次支持グループの問題	31	(29.0)
社会環境の問題	22	(20.6)
教育上の問題	0	(0.0)
職業上の問題	21	(19.6)
住居の問題	1	(0.9)
経済的な問題	13	(12.1)
医療機関の利用上の問題	1	(0.9)
司法・犯罪に関する問題	0	(0.0)
その他の心理社会的・環境上の問題	4	(3.7)
病苦	14	(13.1)

表37 AxisVによる全体の平均値

n = 465

自殺企図直前のG A F 17

救急施設から転出時のG A F 45

表38 Axis-Vによるハイリスク群平均値

n = 94

自殺企図直前のGAF 12

救急施設から転出時のGAF 36

表39 回帰解析後有意であった変数

	B value	Significance	Exp(B)(95%CI)
年齢	-0.720	0.046	0.487(0.240-0.986)
婚姻状況	0.646	0.021	1.908(1.102-3.305)
自殺企図回数	-1.158	0.013	0.314(0.126-0.785)
希死念慮の強さ	-1.143	0.009	0.319(0.135-0.752)
自殺企図契機	-0.448	0.012	0.639(0.450-0.908)
企図時の飲酒	-1.335	0.002	0.263(0.111-0.622)
気分障害	-1.110	0.005	0.330(0.152-0.714)